

三菱化学ハイテクニカ(株) 高橋文夫氏 撮影

### 第86回 全国安全週間スローガン

『高めよう 一人ひとりの安全意識

みんなの力でゼロ災害』

平成25年度

## 全国安全週間を迎えて



小田原労働基準監督署 署長 長久保 茂

全国安全週間は、「人命尊重」の基本理念の下、産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ることを目的に昭和3年に初めて実施され、本年で86回目を迎えます。

神奈川県下における労働災害による死者者は、平成24年は46人と、平成23年の54人より減少しましたが、終盤に立て続けに死亡災害が発生しました。労働災害による死傷者数は、平成24年は6,689人と、平成22年から3年連続の増加となり、極めて憂慮すべき事態となっています。

こうした状況から、何としても労働災害を減

### 第86回全国安全週間

## 小田原地区推進大会に参加して

平成25年度全国安全週間小田原地区推進大会が6月4日に開催されました。冒頭、小田原産業労働団体連合会の鈴木会長から会員に向けて「管内の労災件数が増加傾向にあるため、安全意識を高めて労災発生に歯止めをかけよう」と呼び掛けられた後、小田原労働基準監督署の長久保署長より「本週間に機に労災防止の重要性を再認識し、日頃の安全活動がマンネリ化・形骸化していないか点検して欲しい」とのご挨拶をいただきました。



続いて小田原市加部副市長は来賓祝辞の中で「労働者一人ひとりが安全に働く環境づくりが企業の発展につながる」と述べられ、安全活動の重要性を訴えられました。

少せざるという強い決意の下、トップから安全衛生担当者、労働者まで事業場全員が現場を確認し、機械設備の安全基準や作業手順などの基本的なルールを守ることに加え、安全意識や危険感受性を高め、安全を確保し、労働災害ゼロを目指していく必要があります。

平成25年度の全国安全週間においては、「高めよう 一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害」をスローガンとしています。

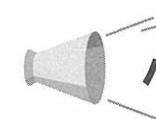
全国安全週間を契機に、労働災害防止の重要性を認識し、安全活動の着実な実行を図りましょう。



また、小田原労働基準監督署安全衛生課田代課長は推進内容を説明される中で「無理な動作によるぎっくり腰の発生が増加している。これは転落や挟まれ災害と異なり、法令順守の対策では発生を防げない。事業所全員参加による安全活動が何よりも重要である」と強調され、スローガン制定の背景を解説されました。

特別講演「企業の安全リスク管理」では、株IK安全サポート小出社長より、安全配慮義務や安全活動のポイントについて、実例を交えてわかりやすくご講演いただきました。特に「従業員を無事に家族のもとへ帰してあげることがトップの使命」「労災の多くはヒューマンエラーが原因であり、KY活動の重要性が見直されている」というお話は、今後の活動の道標にしたいと思います。

(クボタシーアイ株) 斎藤英樹)



## 小田原労働基準監督署からのお知らせ

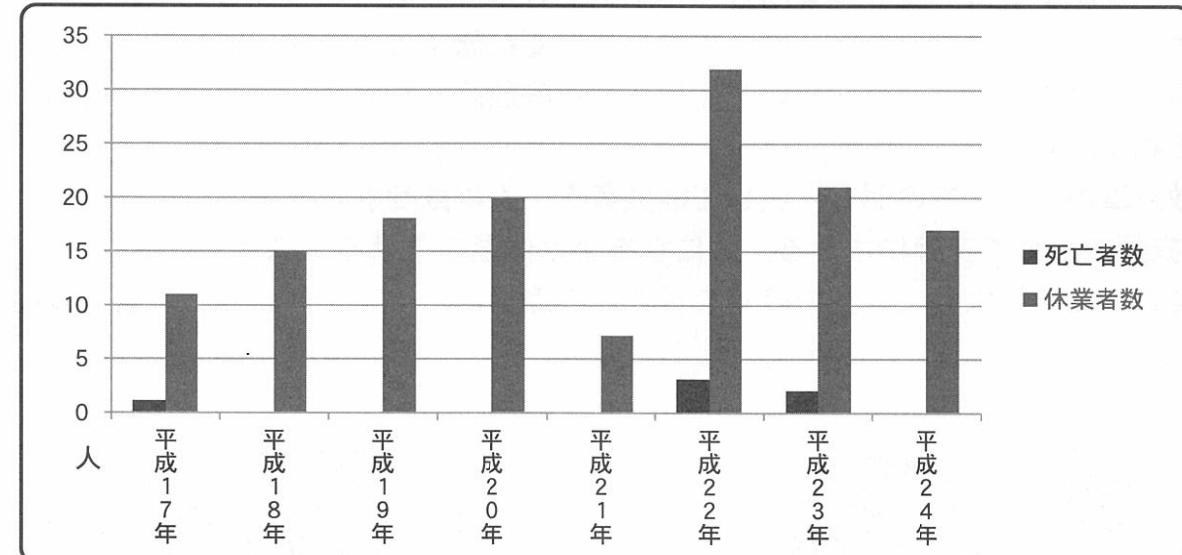
### 熱中症を防ごう

夏が近づいてきました。気温もだんだん高くなるこの時期に、注意してほしいのが、「熱中症」です。

「熱中症」とは、高温多湿な環境下において、体内の水分および塩分のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破たんするなどして発症する障害の総称です。

熱中症を防ぐためには、関係者が熱中症および熱中症予防対策について十分な認識を持つことが必要です。

### 神奈川県内における年別熱中症発生状況(休業4日以上の労働災害)



上表以外にも、休業が4日未満のケースや、不休のケースがあります。

熱中症による被災結果は、軽度(不休等)で収まるか、死亡等重篤化するという極端な傾向があります。

熱中症予防や、発生時にいかに軽度で収めるかは、適切な予防措置や早期対応がカギとなります。

## 熱中症対策のポイント1 热中症を予防するために

「職場における熱中症予防対策」では、WBGT値により職場の暑さの状況を把握し、必要な作業環境管理、作業管理及び健康管理を行うこと、労働者に対する必要な安全衛生教育を行うことを示しています。

職場における熱中症を予防するため、以下の措置を講じましょう。

- 涼しい休憩場所を確保しましょう
- 定期的に水分・塩分を摂取させましょう
- 通気性の良い服装・帽子の着用をさせましょう
- 日常の健康管理について、労働者に指導しましょう
- 作業開始前に、労働者の健康状況を確認しましょう
- 熱中症に関する労働者への安全衛生教育を行いましょう
- 熱中症が疑われる場合の対処方法について知っておきましょう

## 熱中症対策のポイント2 热中症で死なせないために

熱中症が少しでも疑われる場合（体温が上昇している、ふらふらしている、大量に汗をかいている等）は、躊躇せずすぐに救急車を呼び、医師による診察を受けさせましょう。現場で休憩させる等放置しておくと手遅れになることがあります。

救急車が来るまでの間も、決して被災者を一人にはせず、現場での応急措置（衣類を緩めて安静にさせる、体に水をかけ体温を下げる、スポーツドリンクを与える等水分・塩分の補給を行う）を適切に行ってください。



初期症状に注意！  
●めまい ●立ちくらみ  
●こむら返り ●大量の発汗



平成25年度

## 小田原地区安全功労者表彰



山岸(株)  
山北工場  
小沢伸二



(株)西山製作所  
本社・本社工場  
栗原明夫



富士ゼロックススマニュ  
ファクチュアリング㈱  
遠藤菊次

### ■表彰者の選考について

この表彰は、毎年、全国安全週間小田原地区推進大会において、小田原産業労働団体連合会の表彰規定に基づき、3年以上無事故の事業場の中より、同一事業場に5年以上勤務し、かつ安全に対し功績のあった方に贈られるものです。

小規模事業場の事業者と労働者の皆さんへ

### 地域の産業医による健康相談・保健指導は 無料健康相談窓口をご利用下さい

労働者が心身ともに健康で働き続けられるように、長時間労働面接指導、メンタルヘルス対策や生活習慣病予防など、事業場が行う労働衛生管理の支援をするために、「県西地域産業保健センター」では、地域の産業医による面接指導や健康診断の事後措置などの無料健康相談・保健指導を行っています。

1. 無料健康相談窓口ご利用時間（ご利用希望の方は、事前にご連絡下さい）  
午後1時00分～3時00分まで

2. 相談日（平成25年10月までの相談日は次のとおりです。）  
7月1日(月) 7月25日(木) 8月9日(金) 8月23日(金)  
9月4日(水) 10月2日(水) 10月28日(月)

3. 木曜日会場（小田原医師会衛生会館 1F会議室 小田原市城内1-2-2）

木曜日以外の日は、小田原市保健センターで「健康相談窓口」を開設しています。

この他に事業者や労働者が利用し易いように、南足柄市、松田町、箱根町、開成町、山北町、中井町などの産業医のいる診療所でも適宜開設しています。

連絡先 0465-49-2929（月～金曜日の祭日を除く10時から16時までにご連絡ください）

厚生労働省委託事業【神奈川県医師会・協力小田原医師会・足柄上医師会】 ご利用希望の方は

### 県西地域産業保健センター

TEL 0465-49-2929  
FAX 0465-49-2930

■小田原市酒匂2-32-16(小田原市保健センター内)コーディネーター 山本 熟

## 支部会員事業場紹介

### 五十嵐製箱株式会社

☆社名 五十嵐製箱株式会社  
☆所在地 小田原市高田284  
☆代表者名 代表取締役 五十嵐義和  
☆創立 昭和39年10月  
☆従業員数 40名  
☆事業内容 段ボールケース・段ボール製ディスプレイ・POP製品等、企画・製造・販売及び梱包・組立作業



### 株式会社JRC

☆社名 株式会社JRC  
☆所在地 小田原市栄町2-12-45  
☆代表者名 代表取締役 秋元次雄  
☆創立 昭和57年4月1日  
☆従業員数 45名  
☆事業内容 太陽光発電装置設計施工  
電気通信線路工事  
ガス本支管埋設工事



## [事務局だより]

### 事務局長 石塚 金蔵

平成25年度を初年度とする第12次労働災害防止計画がスタートしました。近年の状況として運輸交通業・小売業・社会福祉施設・飲食店・食料品製造業等において災害が増加傾向（又は横ばい傾向）にあります。

当小田原支部では、法令順守及び災害防止策の支援として衛生推進者養成講習会を新たに開催いたします。常時10人以上50人未満の労働者を使用する事業場においては安全衛生推進者又は衛生推進者の選任が義務付けられています。特に衛生推進者は、銀行業、証券業、生保・損保業等の各店舗、飲食業、企業本社、映画演劇業、教育研究業、人材派遣業等の業種において選任が必要です。この機会に受講していただきますようお願いいたします。

### [7月～10月行事案内]

- \* 救急法短期講習会
  - ・7月3日(水) 小田原箱根商工会議所
- \* リスクアセスメント研修会
  - ・7月17日(水) 小田原箱根商工会議所
- \* 健康保持増進講習会
  - ・7月24日(水) 小田原箱根商工会議所
- \* 衛生管理者出張試験
  - ・7月28日(日) 神奈川大学

- \* 衛生推進者養成講習会
  - ・8月21日(水) 小田原箱根商工会議所
- \* 全国労働衛生週間小田原地区推進大会
  - ・9月3日(火) 南足柄市文化会館
- \* VDT労働衛生教育
  - ・9月12日(木) 小田原箱根商工会議所
- \* KYTリーダー研修会
  - ・9月18日(水) 小田原箱根商工会議所
- \* 安全衛生担当者の実務研修会
  - ・9月24日(火) 小田原箱根商工会議所
- \* 届出手続き講習会
  - ・9月27日(金) 小田原箱根商工会議所
- \* 交通KYT研修会
  - ・9月30日(月) 小田原箱根商工会議所
- \* 研削といし（自由研削用）特別教育
  - ・10月4日(金) 小田原箱根商工会議所
- \* 小型移動式クレーン運転技能講習
  - ・10月10日(木)、11日(金) 学科 小田原箱根商工会議所
  - ・10月12日(土) 実技 曽我みのり館
- \* フォークリフト特別教育
  - ・10月16日(水) 小田原箱根商工会議所
- \* 安全管理者選任時研修
  - ・10月23日(水)、24日(木) 小田原箱根商工会議所
- \* クレーン運転特別教育
  - ・10月29日(火) 小田原市民会館

## 散歩道

最近、歌手活動を再開した森高千里さんですが、「渡良瀬橋」というヒット曲があるのをご存じでしょうか？実在する橋で栃木県足利市にあります。小田原からは離れた場所ですが、訪ねてみる機会がありました。

その足利市は、市をあげて、「足利流5S」活動を行っています。普通は整理・整頓・清掃の順で進めていきますが、足利流は整理・清掃・整頓と順序が異なる点と、強制的ではなく

自主性を尊重しながら実行する点が大きな特徴です。定着化し、活動が継続されている点、街ぐるみで取組んでいる点が評価され、最近ですが、世界5Sサミットが開催されるほど広がりを見せております。

ゼロ災の基本は5Sからですが、定着性、継続性が課題となります。足利流を参考にしてはいかがでしょうか。小田原流作りを提唱しましょう。  
(広報部会 谷田部 浩史)